



三中校区
CS情報

コミュニティ・スクール通信

たから



No.23
2022
4月

渡公民館



ボードゲームも置いてます



興味があれば、お料理本だっ
てオッケー！

公民館で本を借りよう

学校の図書館は次年度準備のため、春休みの間は本の貸し出しをしていません。市民図書館も7月までは移転準備のため閉館しています。そこに目を付けたのが公民館の主宰さんです。子どもたちにとって公民館がもっと身近で気軽に立ち寄れる場所になればと、市民図書館から小学生や中学生向けの本を出前してもらいました。また、学校にもポスターを掲示してもらいました。

さっそく放課後、「サバイバルの本を入れてほしい。」「このお料理の本、お母さんに借りて帰ろうかな。」と児童は思い思いに本を選んでいました。ふらっと立ち寄った公民館で、地域の方と何気ない会話を交わす。これからは、そんな日常になっていくといいなと思います。

外江公民館



「何冊まで借りられますか？」



「どれにしようかな？」

しらお塾が目指す子どもの姿

三学期は感染症予防のため、しらお塾（放課後宿題見守りボランティア）はお休みでした。ある日、外江公民館に行くと児童が宿題をしていました。普段はしらお塾に参加している児童です。分からない所は、お互いに教え合っていました。児童が前向きに宿題に取り組む姿を見て嬉しく思うと同時に、しらお塾のボランティアの方たちにも児童の成長を伝えたくくなりました。



外江公民館の談話室で宿題をする子どもたち



公民館主宰さんが作成したポスターを学校に掲示

自分たちにできること

子どもたちは学習を通して、地域の課題解決のために自分たちには何が出来るのか考えます。子どもたちが出来ることは小さいことかもしれませんが、でも私は活動と一緒にしていると、行動に移せる子どもたちを見習わないといけないなといつも思います。



中海水質調査



学校周辺のごみ拾い

あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくり

CSの会議では、「挨拶することは当たり前と押し付けるのでは意味がない。」「まずは大人から。」など挨拶について様々な議論が交わされてきました。「声は小さくても目を合わせてくれる生徒もいて嬉しかった。」とCS委員さんが話してくださいました。子どもたちはどう思っているのでしょうか？家庭で『挨拶』をテーマに家族会議を開いてみるのもいいかもしれませんね。

新学期が始まり、子どもも大人も新しい出会いがあります。「仲良くなれそうかな？」という不安な気持ちを吹き飛ばす挨拶をお互いにできたらなと思います。

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）